



小型クローラクレーン CK90UR/CK120UR

KOBELCO

4.9トン吊り 小型クローラクレーン

CK90UR CK120UR



オフロード法適合



頼れる**現・実・派**。

現場で実用的な小型クローラクレーン、新CK90UR/CK120UR。

地下自動車道路や地下鉄、共同溝などのインフラ工事、ビル地下部の土留め工事、高架橋下工事など、都市部での活躍が際立つ小型クローラクレーン。現場が機械に課す制約はじつに多く、都市現場特有といえる空間的・時間的・条件もクリアすることが求められます。そこでコベルコは“現場で確実にチカラとなるクレーン”をイメージし、新たなモデルを開発、それがCK90UR/CK120URです。カタログやウェブに記載する仕様値だけを追い求めず、現場の作業を検証し、真に役立つ能力を設定。また、数値化しにくい安全性、信頼性、メンテナンス性、環境性も重点的に改善しました。現実派の新しいCKシリーズ、最新鋭のKOBELCO小型クローラクレーンです。



新CKシリーズ チェックポイント!

現場で生きる最適クレーン能力

稼働率を上げるメンテナンス性

新エンジン冷却システムiNDR搭載

オフロード法適合

超低騒音型建設機械の基準値をクリア





4.9トン吊り小型クローラクレーン

CK90UR CK120UR

考え抜かれた最適設定のクレーン性能。

■5段伸縮の高強度テレスコプーム。

ブームにはとりわけ強度と軽さを求めました。板厚と断面高さの見直しにより強度を確保。また、ブーム各部の構造を見直すことで軽量化を図り、安定度域での能力をアップ。ブーム先端形状の最適化により、高さに制約のある場所では、よりブームを起こすことができ、大きな吊り上げ能力を活かせます。

■実作業に最適化した吊り上げ能力。

作業半径5～10mでの作業頻度の高さを重視して、当該半径での吊り上げ能力を高めました。従来機に比べてCK90URで約16%、CK120URで約11%向上しています。

●作業半径5～10m時吊り上げ能力

CK90UR	CK120UR
約 16% 向上	約 11% 向上

■大型ドラムの新型ウインチ。

大径かつワイドなドラムを採用した新型ウインチを搭載しています。スライドシーブをウインチ後方に配置する独自の構造により、適正なフリートアングルを確保しながら、大型ウインチを上部本体内に配置することを実現しました。

■大深度地下への荷下ろしも可能。

長さ113mのワイヤロープを標準装備しています。4本掛けで24mを超える地下揚程を実現しました。さらに、長さ160mのワイヤロープもオプション設定しています。

●最大地下揚程

CK90UR	CK120UR
24.7m (4本掛け時)	24.6m (4本掛け時)

■高揚程作業をよりスムーズに。

フックシーブ径をφ200mmにサイズアップしました(従来機はφ160mm)。高揚程作業時に生じるワイヤロープのよじれの発生を抑えました。

■インチング操作性を向上。

クローラクレーン専用の油圧システムを採用しています。立ち上がりが滑らかで、複合操作もスムーズ。荷振れ止め操作も容易です。また、レバー操作力およびフットアクセル操作力を低減するなど長時間作業時の疲労に配慮しています。



■狭所作業でうれしいコンパクト設計。

ブームオーバーハングおよび後端旋回半径が短いことにより、狭い現場での取り回しが容易です。また、クローラ長さからアップ後端がはみ出しません。

■長時間連続のライト使用が可能。



30Aの大容量オルタネータを装備しています。夜間作業時やトンネル内工事でもバッテリー上がりを気にせずライトを使用できます。



長期的な保守の視点から新技術を投入。

■新構造、前置きウインチレイアウト。 (特許取得)

キャブ横のブーム真下にウインチを配置しました。キャブ内からロープの巻取り状況を視認でき、乱巻きなどのトラブルにも迅速な対応が可能。また、機体に上らず地上からワイヤロープの交換作業が行えます。



■アクセスしやすいワイドオープンボンネット。



地上からすばやく点検・整備を行えるように、ボンネットが低い位置で大きく開く構造を採用しました。エアクリーナ、エンジンオイルフィルタ、ラジエータリザーバタンクなどを見やすく触りやすい位置にレイアウトしています。



■日常清掃が要らない冷却機器。



独自のエンジン冷却システムiNDRを採用しました。吸気口のiNDRフィルタがホコリを除去するので、ラジエータやオイルクーラが目詰まりしません。iNDRフィルタのお手入れだけでOKです。

■最適なヒートバランスを維持。

iNDRの防じん機能が冷却機器の性能低下を抑えます。粉じんの多い閉塞現場での作業時も、オーバーヒートを招きません。

独創のエンジン冷却システム、 iNDR(アイ・エヌ・ディー・アール)を採用。

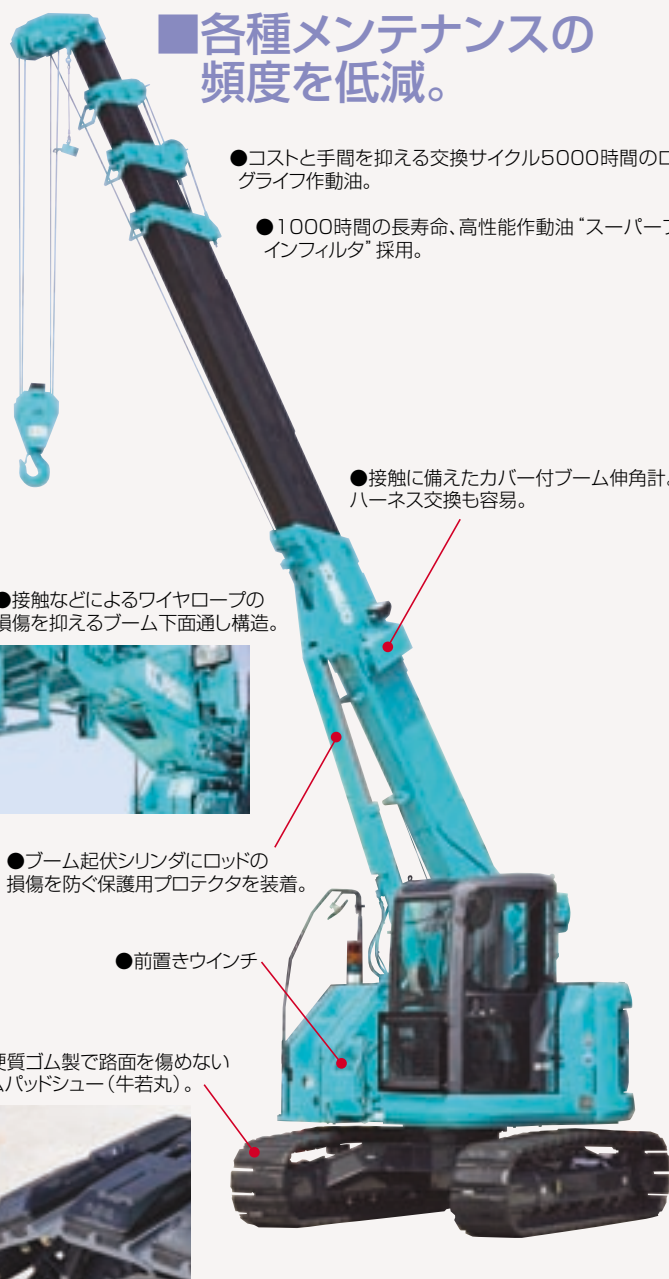


吸気口から排気口までを一本のダクトに見立て、その内部をエンジンルームとした構造のiNDR。ダクトの壁に隙間をつくらず、同時に直角コーナーを設けることで、運転音の漏れを極小に。またiNDRフィルタにより優れた防じん性を発揮。信頼性と整備性の飛躍的向上につながりました。発想に、メカニズムに、効果に驚かすにはいられない新冷却システムです。

■各種メンテナンスの 頻度を低減。

●コストと手間を抑える交換サイクル5000時間のロングライフ作動油。

●1000時間の長寿命、高性能作動油“スーパーファインフィルタ”採用。



●接触到備えたカバー付ブーム伸角計。ハーネス交換も容易。

●接触などによるワイヤロープの損傷を抑えるブーム下面通し構造。



●ブーム起伏シリンダにロッドの損傷を防ぐ保護用プロテクタを装着。

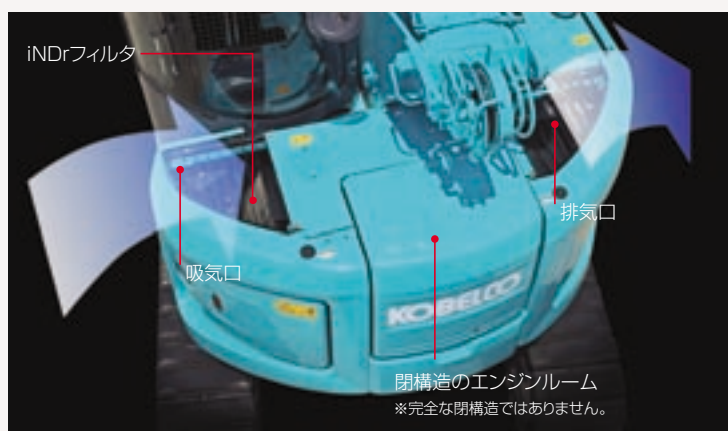
●前置きウインチ

●硬質ゴム製で路面を傷めないゴムパッドシュー(牛若丸)。



■遠隔管理の稼働機管理システム「MERIT」。(オプション)

稼働情報、位置情報、メンテナンス情報、故障履歴などを、現場から離れたオフィスで把握可能。稼働率向上、的確なメンテナンス、迅速なサービス、セキュリティなどに役立ちます。



iNDRフィルタ

吸気口

排気口

閉構造のエンジンルーム
※完全な閉構造ではありません。



地球環境に、作業環境に、安全に、細々と配慮。

安全にも配慮したワイドキャブ。

安全確認がしやすいワイドな前方視界とクリアな上方視界。しかもフロントウインドウ下部にはハーフガードを装備。また、室内もゆったり、足元もひろく疲れにくい運転席です。



●フロントハーフガード

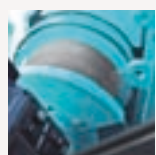


●水準器



●FM/AM自動選局
ラジオ&エアコン

作業時のトラブルを未然に防止。



●乱巻き防止
機能付きウインチ



●巻き込み防止
ウインチガード



●走行時フック
揺れ防止装置



●ハンドレール

ヒューマンエラーを防ぐ安全機能。



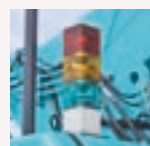
- ブーム高さ制限装置
- 自動停止機能付き過負荷・過巻防止装置
- ウインチ自動ブレーキ
- 玉掛けワイヤ外れ止め
- 油圧シリンダ自動ロック装置



周囲の安全を確保する機能。



●旋回フラッシャ



●過負荷外部
表示灯



●後方確認カメラ・モニタ(カラー)
(オプション)



●走行/旋回アラーム(オプション) ●後方作業灯(オプション)



周囲に優しい超低騒音。



国土交通省の指定する超低騒音型建設機械の基準値をクリアしました(CK90URはクラス初)。トンネル内や地下など騒音が響く現場で実感でき、夜間作業での近隣配慮としても有効です。

第3次排ガス基準値をクリア。



粒子状物質(PM)、NOx、黒煙などの排出が少ない低公害型エンジンを採用しています。その結果、オフロード法*に適合しています。

※特定特殊自動車排出ガス規制等に関する法律

搬送時のトラック積載高さに配慮。

- 本体全高

CK90UR

2,710mm

CK120UR

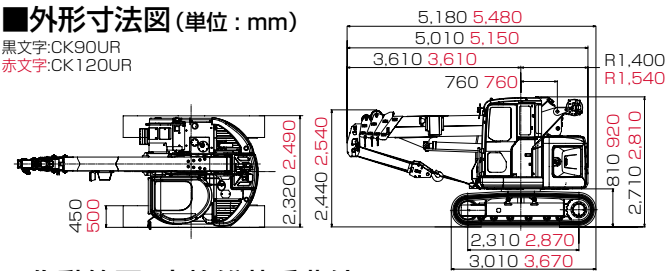
2,800mm



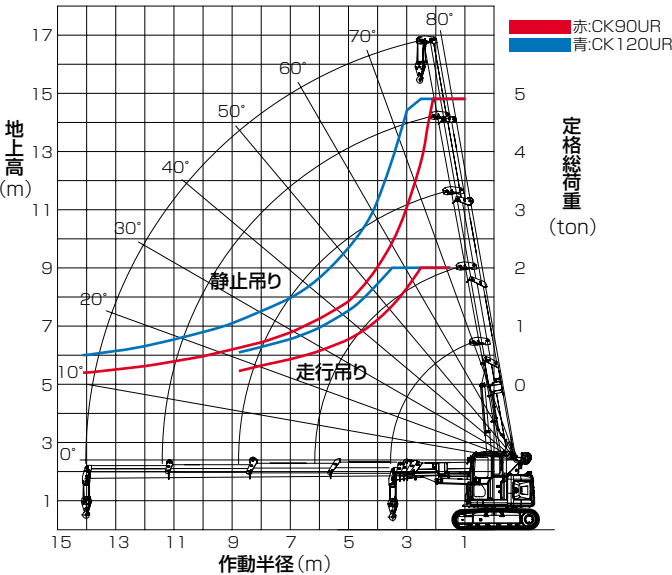


■外形寸法図 (単位 : mm)

黒文字:CK90UR
赤文字:CK120UR



■作動範囲・定格総荷重曲線



■主要諸元

機種名	CK90UR	CK120UR
本体型式	CK90UR-2	CK120UR-2
車名及び型式	コベルコ KDN-YA03	コベルコ KDN-YK03
最大吊り上げ能力	t×m 4.9×2.1 (走行吊り:2.0×2.5)	4.9×2.5 (走行吊り:2.0×3.5)
最大作業半径	kg×m 200×14.01	500×14.01
最大地上揚程 (4本掛け)	m 15.3	15.4
最大地下揚程 (4本掛け)	m 24.7	24.6
ブーム形式	箱型5段式 (2段単独、3～5段同時伸縮)	
ブーム長さ	m 4.25～14.77	
無負荷ロープ速度	m/min 104/150 (4層目)	
ロープ長さ (標準)	φmm×m φ10×113	
ブーム起こし速度	sec/度 20.5/－1～80°	
ブーム伸し速度	sec/m 25.4/10.52 (フルストローク)	
旋回速度	min ⁻¹ {rpm} 2.5 {2.5}	
走行速度 (1速/2速)	km/h 2.8/4.4 1.8/3.0	
エンジン	型式	いすゞ 4LE2XCUA
	種類	ターボ付直接噴射式ディーゼル
	定格出力 kW/min ⁻¹ {PS/rpm}	41/2,200 {56/2,200} (JIS D0006-1:2000)
燃料タンク容量	ℓ	95
油圧作動油	ℓ	全量83 (タンク内油量50)
運転質量	kg	9,640 12,370
シュー幅	mm	450 500
接地圧	kPa {kgf/cm ² }	46.3 {0.47} 42.3 {0.43}

単位は国際単位系のSI単位表示で {} 内は従来表示です。

- 運転席から離れる場合はアタッチメントを格納させるなどの適切な措置を施してください (掲載写真はカタログ用にポーズをつけて撮影したものです)。
- 製品写真にはオプション装備品が含まれている場合があります。
- 本カタログで使用する標準「KOBELCO」は、株式会社神戸製鋼所の登録商標です。また、当社商品名、サービス名およびロゴマークは、コベルコ建機株式会社の商標または登録商標です。その他の会社名やロゴマーク、商品名、サービス名は、各社の商標、登録商標もしくは商号です。
- このクレーンの運転には「小型移動クレーン運転技能講習」が、また玉掛け作業には「玉掛け技能講習」の修了証が必要です。詳しくは最寄りの営業所かコベルコ教習所へお問い合わせください。

コベルコ教習所のモバイルサイト



コベルコ建機株式会社

www.kobelco-kenki.co.jp

東京本社/〒141-8626 東京都品川区東五反田2-17-1 ☎03-5789-2111
東日本コベルコ建機(株) 〒272-0002 千葉県市川市二俣新町17 ☎047-328-7111
北海道・東北支社 ☎0223-24-1141 関東支社 ☎047-328-2322
西日本コベルコ建機(株) 〒660-0086 兵庫県尼崎市丸島町46番地の1 ☎06-6414-2100
中部支社 ☎052-603-1201 関西支社 ☎06-6414-2108
中・四国支社 ☎082-810-3660 九州支社 ☎092-503-4111

■定格総荷重 (単位 : kg)

ブーム長さ	4.25m		6.88m		9.51m		12.14m	14.77m
作業半径 m	静止吊り	走行吊り	静止吊り	走行吊り	静止吊り	走行吊り	静止吊り	静止吊り
1.0	4,900	2,000						
	4,900	2,000						
1.5	4,900	2,000	4,900	2,000	2,600	1,400		
	4,900	2,000	4,900	2,000	2,600	1,400		
2.0	4,900	2,000	4,900	2,000	2,600	1,400	2,000	
	4,900	2,000	4,900	2,000	2,600	1,400	2,000	
2.1	4,900	2,000	4,900	2,000	2,600	1,400	2,000	
	4,900	2,000	4,900	2,000	2,600	1,400	2,000	
2.5	3,820	2,000	3,780	2,000	2,600	1,400	2,000	1,400
	4,900	2,000	4,900	2,000	2,600	1,400	2,000	1,400
3.0	2,920	1,600	2,990	1,640	2,330	1,250	2,000	1,400
	4,650	2,000	4,690	2,000	2,600	1,400	2,000	1,400
3.5	2,310	1,270	2,430	1,340	2,030	1,090	1,910	1,400
	3,740	2,000	3,850	2,000	2,600	1,400	2,000	1,400
4.0			2,000	1,100	1,770	950	1,670	1,400
			3,130	1,720	2,600	1,400	2,000	1,400
4.5			1,670	910	1,550	830	1,470	1,330
			2,650	1,450	2,580	1,400	2,000	1,400
5.0			1,400	770	1,360	730	1,300	1,230
			2,250	1,230	2,340	1,260	2,000	1,400
6.0			1,000	550	1,040	560	1,030	1,020
			1,700	930	1,800	960	1,720	1,400
7.0			950/ 6.12m	520/ 6.12m	800	430	820	860
			1,650/ 6.12m	910/ 6.12m	1,440	770	1,470	1,270
8.0					600	320	650	720
					1,180	640	1,230	1,130
9.0					430/ 8.75m	230/ 8.75m	520	590
					1,030/ 8.75m	550/ 8.75m	1,040	990
10.0							410	470
							890	860
12.0							270/ 11.38m	300
							730/ 11.38m	650
14.0								200
								500
14.01								200
								500

上段はCK90UR、下段はCK120URの数値です。
荷重値はすべて4本掛けフックでの数値です。

〈注〉

- 作業半径とは、クレーン旋回中心より吊り上げ荷重の重心までの水平距離をいいます。
- 定格総荷重は、水平堅土上における転倒荷重の78%以内で、フックブロック、玉掛用ワイヤロープ、その他巻上用付属品の質量を含んだ値です。
- 定格総荷重を吊り上げる場合でも、風の影響、地盤の状態、作業速度、その他安全作業に有害と思われる状況に応じて、オペレータは荷重の軽減、作業速度の低減など適切な判断をする責任があります。
- 表中の空欄の箇所では作業を行うことはできません。
- 実際に吊り上げ得る荷重は、定格総荷重から〔フック＋玉掛用ワイヤロープ等の吊り具〕の質量を差し引いた値になります。
- フック質量:60kg (4.9t吊り/4本掛け、2.45t吊り/2本掛け共用)、25kg (1.4t吊り/1本掛け)
- 走行時の吊り上げ荷重は、静止状態で吊り上げたのちに水平堅土上で走行できる荷重です。この場合、吊り荷が振れないように地面近くに荷を保持し、かつ急発進・急停止・スピンターン等の操作は行わないでください。
- 走行吊りの前にモーメントリミッタは、走行吊りにスイッチを切り替えてください。
- 走行吊り中に、荷の巻上・巻下やジブの起伏・伸縮・旋回等のクレーン操作は行わないでください。
- 走行吊り中の速度は、1.4km/h (1速のみ) 以下にしてください。

